



土に、
恋して。

会話は少ない。 みんな、土に夢中だから。

うちの会社は、
しーんとしてる。
みんな黙々と
目の前の土を見つめている。

おはようございます、って言ったら
「おはよう」「オハヨ」「早いね」って、
先輩たちが顔を上げる。

それっきりまた、土を見る。
みんな目をキラキラさせて。

うちの会社は、
なんだか研究室みたい。
静かだけど、ちょっと心地よい。

ゆっくりでいい。 この試験に、 未来がかかっているから。

建物を建てる前に行う、
土質試験や地盤調査が
わたしたちの仕事。

全国から送られてくる
土の試料を大切に扱って
その土地にどんな歴史と
可能性があるかを
調べている。

試験の結果次第で、
工事の方法が変わることだってある。
重要な仕事だからこそ、焦らなくていい。
ゆっくり、じっくり、
やっていきましょう。



素直がいい。
きっと仕事が
好きになるから。

土の専門家、ですが、
学生時代に土を勉強していなくても、大丈夫。

人付き合いが苦手でもオッケー。
だって大事なのは、
土と会話することだから。

きっかけは、
家が近いからでも、先輩がいるからでも、
いいんじゃない？

素直に人の話を聞けるあなたは、
じっくり土に向き合える人だと思う。

土と、わたしたちアースプライムに
興味を持ってもらえたら、
うれしいです。

だれかが助けてくれる。
みんな、はじめは
素人だったから。

実はわたしたち、
業界をリードする存在、かもしれない。

他社ではできない
大型の試験ができたり
ときどき同業から
難しい試験を依頼されたりもする。

試験の種類も多いから、
最初はみんな戸惑う。

でも大丈夫。
最初からできる人なんか、いないから。

普段は静かな先輩たちは、
とっても優しく、とっても物知り。
ひとつずつ丁寧に、教えてくれる。

土が好きな人って、
優しい人が多いのかも。

静かであたたかい
アースプライムの空気を
ぜひ感じてほしい。



Message



必要なのは、「素直なこと」だけ。

世間では、新入社員に求めることで、明元素という言葉があります。明るく、元気で、素直な資質を指す言葉です。世間はそうでも、うちに必要なのは「素直なこと」だけ。わたしは仕事ができるかできないかというのは、本人の問題ではなくて上司の問題だと考えています。当社には、しっかり教える人も、何かあれば助けてくれる人もいます。アドバイスを素直に聞ける人なら、必ずスキルアップできる環境です。

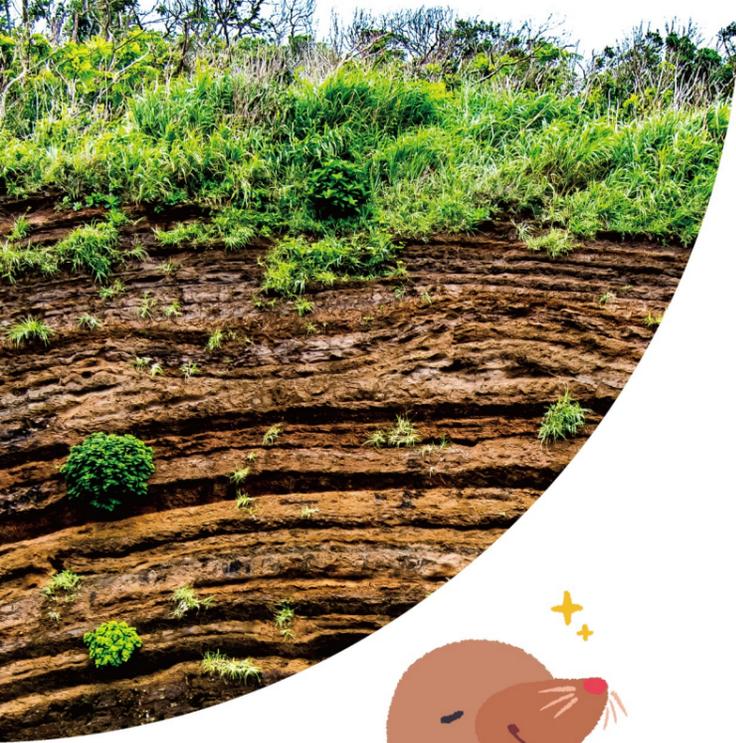
何かあったら、 みんなでなんとかしてあげよう。

土質試験にはいろいろな種類がありますが、限られた試料で結果を出さなくてはいけないのはどれも一緒です。新人ならなおさら緊張してしまう事実でしょう。そこを、何かあったらみんなでなんとかしてあげようとするのがアースプライムらしさ。これからもこの文化を大事にしていかなくちやと思います。そしてそのためには、文化を受け継ぐ若手を増やすことが必要だと気がつきました。

ずっと働ける、いい会社を作りたい。

わたしは株式会社アースプライムの5代目社長として、今うちで働いている方、これから入社される方が、定年後もずっと働けるようないい会社を作りたいと思っています。土が好きでも、そうでなくても、当社にご縁を感じて、仲間に入っていただけることを楽しみにしています。





あなたの街の土も、 わたしたちは 知り尽くしている、かも。

建物を建てる時、土にも健康診断が必要だって知っていますか？これを専門用語で、「土質試験」や「地盤調査」と言います。アースプライムの試験室には、毎日全国各地からいろいろな土が届きます。ダムを建設予定のあの山の土、高層ビルが建つ予定の話題の都市の土、様々な土を慎重に検査し、お客さまに正確なデータを提出するのがわたしたちのお仕事。土のお医者さんのような気持ちで、未来の建築物の安全性に大きく貢献しています。



? 土質試験とは

専門的な試験機を用いて、土の強度や浸水性などを測定するお仕事です。様々な試験機を用いて、当社では約60種類の試験が可能です。試験結果を施工管理に活かすことで、地盤沈下や液状化のリスクなどを軽減することができます。お客さまはゼネコン、建設コンサルタント会社、官公庁、研究室、同業他社など幅広く、日本中のいろいろな土が当社の事務所に送られてきます。アースプライムの業務の約6割を占めるメイン事業です。

試験は主に7つの系統に分かれています。

- ① 物理試験
- ② 化学試験
- ③ 圧密・透水試験
- ④ 強度試験
- ⑤ 安定化試験
- ⑥ 岩石試験
- ⑦ コンクリート・骨材試験

? 地盤調査とは

ボーリング調査によって地層の状況を観察し、土質試験に使用する土を実際に掘る業務です。平地はもちろん、山岳地帯、傾斜地、水上など、現地の様々な状況に応じて調査します。当社ではベテランの社員がチームを組んで調査しています。



構造物ができるまで

調査依頼はゼネコンなどの元請から直接いただくこともあれば、建設コンサルタント会社が間に入ることもあります。

高速道路を作りたいな！よ～し、まずは地質調査だ！アースプライムにお願いしよう！

- 建設計画
- 調査
- 設計
- 施工
- 完成

調査工程

1 ボーリングで土のサンプルを採取

現場の状況を見極め、地盤に応じた方法で所定の深度の土を的確に採取します。

2 土質試験

土のサンプルを事務所に持ち帰り、試験機を用いて検査を行います。最も基本的な試験は、土の性質を把握するための「物理試験」です。特殊な試験機を用いて、土をふるいにかけて、水を含ませたりしながら土の性質を調査していきます。試験によっては2、3日で結果が出るものから、7～14日ほど時間がかかるものも。丁寧に、根気よく向き合うことが大切です。右一覧の他にもプロジェクトに合わせた試験で、土を徹底的に調べます。

3 地盤調査や土質試験の結果をお客さまに提出

地質や土質試験結果、計測・観測データをもとに、地盤の情報を図示し、見えない土の中の地層構成を明らかにします。加えて、地盤の強さや地盤が構造物に与える影響を検討します。これらの結果は、土木・建築の設計・基礎づくりに幅広く利用されます。

01 土粒子の密度試験

土粒子の質量を炉乾燥して求め、ピクノメーターを用いて同体積の水の質量を測定することで、土粒子部分のみの単位体積質量を算出します。

02 土の含水比試験

土粒子の質量に対する空隙に含まれる水の質量の割合を、百分率で表します。

03 土の粒度試験

土を構成する土粒子の粒径の分布状態を求めます。

04 石分を含む地盤材料の粒度試験

粒径75mm以上の石分を含む試料の場合に行います。

05 土の細粒分含有率試験

地盤の液状化の可能性を判定する場合に行います。

06 土の液性限界・塑性限界試験

土は、含水量の多少によって液状から固体状へと変化します。土の状態が変化する境界の含水比を求めます。また、土の分類にも活用されます。

07 土の湿潤密度試験

自立する塊状の土を用いて、その体積と質量を測定し、土全体の単位体積質量を求めます。

08 砂の最小密度・最大密度試験

ある砂の現在の密度が、その砂の最も密な状態と最も緩い状態の、相対的にどの位置にあるかを調べます。

わたしたちの日常、少しだけお見せします。

アースプライムあるある

突然の社長に、 ビックリする。

つい無口になりがちな試験の最中、振り返ると、社長が！社員とは少しでも顔を合わせて、会話をしようしてくれます。ときどき驚かされるけど、気さくな社長がみんな好きです。

街の一軒家から、 国家プロジェクトまで。

全国から仕事の依頼がある当社。お客さまも地元の建設会社から、ゼネコンまで様々です。なかには国家プロジェクトのダム建設や、大学の研究室から実験の依頼も。あの東京湾アクアラインの建設にも当社が関わっているんですよ。次はどんな土が届くかな。

虫さん、 こんにちは。

基本的に事務所のなかで作業を行う土質部ですが、登山など野外活動が好きな人も多くいます。土のサンプルには虫が混じっていることもあり、出会いを楽しめるとより仕事が楽しくなるかも？

飲み会は、 行かなくてもいい。

みんなの個性を尊重したい当社。コミュニケーションが得意な人もいれば苦手な人もいて、プライベートの付き合いがある人もいれば、ない人もいます。共通するのは、みんな土と仕事が好きてこと。

名前が残る仕事って、 かっこいい。

お客さまに提出する試験結果の書類には、担当調査員として自分の名前が載ります。責任あるプロジェクトの一端を、自分が担っていることを実感する瞬間です。

声をかけられると、 うれしい。

静かな人が多い当社の先輩たちですが、面倒見はけっこういいんです。ベテラン揃いなので、試験のことなら誰かが教えてくれます。聞き上手が多いので、安心してなんでも聞いてください。

やる気があれば、
未経験からでも
いろんなことに挑戦できる会社。

土質部土質第一課
戸張 聡
麻布大学生命環境科学部環境科学科卒
2020年入社

社会人3年目で、新たな土質試験の道へ。

グループ会社であるサムシングから、移籍という形でアースプライムに入社して、今は3年目です。サムシングでは土壤汚染調査という仕事をしていて、土を扱う点では似ているのですが、試験内容は全然違います。必要な知識も違うので、一から勉強し直す気持ちで入社しました。会社が変わって驚いたのは、人との接しやすさです。社長自ら声をかけてくださるのもうれしいですし、先輩たちには不思議と話しかけやすい雰囲気があります。試験は先輩を見て手順を覚えて、慣れるまでは一緒に入ってもらい、少しずつ習得していきました。わたしは「液性試験」という試験がなかなかうまくいかず、すごく時間がかかってしまう上に、いい結果が出せませんでしたが、先輩のやり方を真似たらどんどん速くなり、結果の精度も上がってきました。上司に「良くなったね」と言われたのがうれしかったです。

丁寧な仕事が、いい結果につながる。

液性試験を習得するのに、わたしは2、3ヶ月かかりました。試験ができるようになるにつれて、結果がきれいに現れてくるのはやりがいに感じます。難しそうな試料ほど、結果がきれいに出るとテンションが上がりますね。アースプライムは、やる気があればいろんなことに挑戦していい会社です。やる気があるほど対応できる試験の数は増えていきます。わたしが今挑戦しているのは、「繰返し三軸」という試験。試験に費やす時間が4、5日と長いので、ミスすると一からやり直しになってしまうプレッシャーのかかる試験です。一つひとつの仕事に丁寧に向き合いながら、さらに専門性を身につけていきたいです。

アースプライムのここが好き！

仕事を教えてもらいやすいところ。

静かな職場でありながら、誰にでも声をかけやすい雰囲気があります。試験や練習をしていてわからなくなったときは、「こうしたほうが良いよ」と誰かが教えてくれるので、未経験の方でも安心して入社できますよ。



大型試験を終えたときの、達成感がたまりません。

土質部土質第二課主任
佐藤 英
日本大学文理学部地球システム科学科卒
2011年入社

知識よりも大切な、経験を重ねていく。

小さい頃に旅行に連れて行ってもらったハワイで、活火山が噴火したり、溶岩が流れる様子を見ました。そこから土壌に興味を持って、大学では地質系の分野を勉強していました。大学でも土は触ったりしていましたが、会社で使う知識とは違うので、入社直後は分厚い本を読んでとにかく知識を身につけようとしていました。しかし土は自然のものなので、実際には本には載っていないような試験結果になることも多く、何より経験が重要。有名な関東ロームがまさに特殊な土ですし、その地点や、その日の気象もデータを構成する重要な要素です。試験は何年やっても難しさはありますが、最近はある程度あたりをつけられるようになってきたかなと思います。

好奇心がある人は、楽しめる会社。

通常の室内の試験も行いますが、大型試験は二課の役割です。大きな礫という石のようなものを含む試験を社内で行っています。1トンの土が送られてくることもあり、大型試験ができるような広い敷地のある会社はなかなかないので、当社ならではのやりがいです。社内には土が好き人や、土マニアみたいな人もいますが、みんな共通して、コツコツ地道な作業ができる人たちです。先日は学会に行かせてもらったのですが、手を挙げれば研究などを積極的にサポートしてくれる会社の姿勢はうれしいです。好奇心の強い人が楽しめる仕事だと思うので、今まで土に触れてこなかった人も興味を持ってもらえたらと思います。

アースプライムのここが好き！

落ち着いた環境で、好きな仕事ができるところ。

細かい作業が好きなので、試験は性に合っていると感じます。地道にやれば結果につながるし、結果が次の工程に活かされるのもうれしいです。職場の人たちとプライベートのつながりは少ないほうですが、話を聞いてくれる人が多くて働きやすい環境だと思います。



信頼される土の専門集団として、これからは担う若手を育てていきたい。

土質部土質第三課課長
甲良 信悟
東京都立田無工業高等学校建設科
(現：東京都立田無工科高等学校)
1993年入社

土を調べることが、商売になるなんて！

アースプライムの前身、武蔵野土質調査の頃に入社して、土質部一本で3、40年間働いています。卒業した工業高校は建設関係の科だったので、測量は経験がありました。それ以外は素人同然でしたが、先輩が何名か入社している会社だったし、家から近かったのが応募のいちばんの理由ですね(笑)。身近な土を検査することで商売になるということに驚いたのを覚えています。入社しているんな試験を習うのですが、わたしの場合は土より先に岩石試験というものを専門で行う班に配属されていました。最初は先輩について半年くらい、徐々に自分でもできるようになって、3年くらいはかかったと思います。これから入る方も、焦らずじっくり覚えてもらえればと思います。

お客様からの信頼を、次の世代に託しながら。

現在は課長として、自分で試験をすることもあれば、部のみんなに試験を任せて、上がってきたデータをチェックすることもあります。お客さまにデータを提出したり、売上の計算などもわたしの役目です。なかには長年付き合いのあるお客さまもいて、試験内容をこちらから提案してお仕事をいただくということもあります。先方の偉い立場の方からたくさん質問されることもあります。アースプライムが土の専門集団だと信頼を置いてくださっている証拠ですね。お客さまに頼られるたびに、やりがいを感じます。今の目標は、これからの役職者を育てることです。自分の後継者や、さらに上の立場となる人をしっかり育てることで、きちんと会社が継続できる。そしてわたしは定年後も、この会社で試験をやらせてもらえると良いなあと思うんです。

アースプライムのここが好き！

他社にはできない試験が、うちではできる。

試験には決められた手順があり、そのやり方に則って行るのが通常の業務ですが、なかには研究中の試験方法をうちで実験してほしいと依頼されることもあります。それは当社の敷地の広さや、試験機、社員の数が充実しているからこそ依頼されること。これからはお客さまの期待に応えていきたいです。



社員の母校一覧(50音順)

大学

あ・か行

麻布大学生命環境科学部環境科学科
北里大学水産学部

京都大学大学院農学研究科修士課程

国士舘大学法律学部法律学科

さ・た行

埼玉大学教養学部教養学科

信州大学理学部地質科学科

専修大学法学部法律学科

東洋大学工学部環境建設学科

東洋大学現代経営学部現代経営学科

東洋大学文学部

な・は・ま行

日本大学生産工学部建築工学科

日本大学文理学部地球システム科学科

日本大学理工学部土木工学科

法政大学デザイン工学研究科都市環境デザイン工学専攻

明治大学文学部文学科文芸メディア専攻

明星大学理工学部総合理工学部環境生態学系

明星大学理工学部土木工学科

高専・専門・短大

あ・か行

国土建設学院土木工学科

さ・た行

渋谷タイピスト学院

昭和第一専門学校土木工学科

菅原学園専門学校

専門学校デジタルアーツ東京情報処理科

中央工学校建築室内設計科

東京映像芸術学院

東京学園東京デザイナー学院

東放学園映画専門学校放送音響科

トライデントコンピュータ専門学校大阪

な行

日本デザイン専門学校インテリアデザイン科

日本電子専門学校電気工学科

や行

山村女子短期大学国際文化科

高校

あ・か行

川越市立川越高校

県立浦和東高校

県立狭山高校

県立玉川工業高校建設技術科

さ・た行

私立昭和第一学園高校機械科

私立東亜学園高校

私立東野高校

駿台学園

都立荻窪高校

都立葛西南高校

都立田無工業高校建設科

都立農業高校



アースプライムの未来は明るい。
一歩ずつ着実に、
世の中に必要とされる人になろう。

こう見えてもわたしたち、業界トップクラスの実力派集団。
きめ細やかな指導と実践の積み重ねで、あなたを土のプロフェッショナルに育て上げます。

ニーズの高いニッチな業界なので
仕事がありません。

土質試験や地盤調査は、建築の際には必要不可欠なものです。しかしながら、調査のできる企業は少なく、競合する企業も数える程度。業界の伸び代はまだまだこれからです。当社で技術を身につければ、引く手数多の人材になれるかも。



同業からも頼りにされる、
業界の要です。

アースプライムは、土質試験と地盤調査をどちらも行える企業です。現地のボーリング試験から室内での土質試験まで一貫して対応できるのは、他にはない強みです。試験機の数も豊富なため、他社ではできないような試験が可能。ときには別の会社が一度調査したものを、セカンドオピニオンのような形でご依頼いただくこともあります。丁寧な仕事でこれからも期待に応えていきます。

一人ひとりに合わせた教育計画で
1年後の「できる」を増やす。

当社の試験項目は約60種類。1年後にはいくつかの試験を自分ひとりでできるようになることを目標に、一人ひとりに合わせた教育の計画を立てています。慣れない試験は確実にこなせるようになるまで、上司や先輩が丁寧にサポート。プロフェッショナルへの道を着実に歩んでください。

新人研修(4月)

グループの親会社である株式会社サムシングにて、1ヶ月間研修を実施します。社会人としての心構えから、各部署の仕事内容についてまで幅広く学びます。

経営方針説明・ライフプラン研修・各部署研修(調査部・設計部・品質管理部・工務部・営業部・管理本部)土質試験設備見学・安全運転講習・各支店研修・情報セキュリティ研修・ビジネスマナー講習・ビジネスモデル発表会・研修理解度テスト、等

スキル評価制度(土質部)

管理職が主体となって、社員のスキルを毎月評価する制度です。スキルは約60項目の試験ごとに4段階で評価され、自分ひとりで十分に行える試験と、訓練中の試験が一目でわかります。習得してほしい試験項目は上司が一人ひとりの状況を見て計画を立てているので、集中して訓練することが可能。上司とメンバーが具体的な目標を共有することで、日々PDCAを回しながら業務に向かうことができます。

今はまだ、恋じゃなくても。
——あなたのことを、待っています。



株式会社アースプライム（東証グロース上場 ITbook ホールディングスグループ）

創業	昭和45年9月10日（設立：昭和46年1月7日）
本社	東京都東村山市本町2丁目7番4号
埼玉支店（技術センター）	埼玉県所沢市北岩岡296番地1
資材センター	埼玉県所沢市中富1051番地2
職員数	技術職員40名／事務職員10名（計50名）

コーポレートサイトはこちら ▶

